



## 熊本の病院紹介

### くまもと森都総合病院の 近況

医療法人創起会 くまもと森都総合病院

理事長・院長 藤山 重俊

本院の歴史を辿りますと、大正十一年（一九二二年）六月二十日に通信省の診療所「熊本通信診療所」として開設、昭和十七年に「熊本通信病院」に昇格し、昭和三十一年から昭和四十八年にかけて現在の病棟（モダニズム建築百選）が建設されています。その後、昭和五十六年にそれまでの日本電信電話公社（電々公社）の福利厚生施設としての「職域病院」から保険医療機関として一般に開放され、病院名も電々公社が日本電信電話株式会社（NTT）となるに伴って平成元年に「NTT九州病院」、平成十一年に「NTT西日本九州病院」となっています。この間、「患者様を中心とした医療」、「高度な医療の提供」、「地域に親しまれる病院」という三つの基本理念のもと、地域の中核病院の一翼を担って、より高度で安全な医療の提供に努めて参りました。平成十二年十一月には日本医療機能評価機構か

ら熊本ではいち早く認定されており（Ver. 3.0）、平成十七年に再審査（Ver. 5.0）、平成二十二年には再々審査（Ver. 6.0）で更新されています。

しかしながら、職員の採用などいろいろな面で企業立病院としての制約が多く昨今の厳しい医療環境に対応できないこと、加えてNTT西日本本体のオフバランスという観点などから、平成二十三年七月一日をもって、全国にある十三のNTT病院の先陣を切って、長年の懸案であった老朽化した病院の建替とセットで、NTT西日本からの基金拠出型の医療法人創起会「NTT西日本九州病院」として独立、創立九十周年を迎えた平成二十四年七月一日から「医療法人創起会 くまもと森都総合病院」と改称して運営しています。

新病院名は、熊本市が豊かな緑と水に恵まれた自然の力の恵みを得て発展してきた歴史を継承し、熊本市のキーワードである「森の都」から森都と名付けました。病院名は変更しましたが、これまで通信病院、NTT病院としてこの地域で歩ん

きた九十年の歴史の重みを重々感じながら、地域に根ざした病院運営を踏まえつつ「質の高い医療を通じて地域に愛され、親しまれる病院を目指す」ことを基本理念に、これまで以上に地域医療への貢献を果たすべく、新たな気持ちで職員一丸となって取り組んでいます。また、診療機能の整備・充実を推進すべく、大江のJ.T跡地での新築・移転に向けて鋭意進行中です。

現在、ベッド数一九九床、一日の外來患者数四八〇名程度、紹介率五〇%強です。医師数は三十九名（十研修医八名）で、肝臓・消化器内科、血液内科、呼吸器内科、循環器内科、腎臓内科（透析室含む）、リウマチ膠原病内科、外科、整形外科、産婦人科、皮膚科、眼科、歯科・口腔外科、麻酔科、放射線科および健診センターで構成され、日本内科学会、外科学会など多くの学会の研修施設に認定されています。基



くまもと森都総合病院

がん診療連携拠点病院として急性期医療を担う一方で、平成二十五年六月にそれまでの二〇三床から一九九床として地域の医療機関の先生方と密に連携し地域の在宅医療を支える在宅療養支援病院としての診療も開始するとともに「総合診療専門医」養成施設を目指しています。引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。